

登録コード	F3002230	開講年度	2026				
授業科目	ものづくり経営					担当教員	庄子 卓真
英文授業名	Technology and Operations Management					副担当	河村 隆
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生	学部3年
講義室	繊維研棟ミーティングルーム1			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 4Fカリ・先進感性, 2 4Fカリ・機械味'ット機械学コース, 2 4Fカリ・機械味'ットバイオコース, 2 4Fカリ・化学材料, 2 4Fカリ・応用生物					企業における「ものづくり(=製造)」に係わる一連のプロセス, 体系, およびそれらに関連する諸課題とマネジメント手法について基本的な理解ができることを目標とする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	当授業は、将来メーカーへの就職や起業する本学部生にとって、ものづくり経営に関する基本概念を習得する場所にします。本学部の卒業生・修了生は、技術系でありながらゼネラルマネジメントにつく者が多く、これまでに多くの企業経営者を輩出しています。したがって、当授業はMOT(Management Of Technology:技術経営)分野を想定し、企業におけるCTO(Chief Technology OfficerをはじめとするCxO職)の養成を想定して行います。このようなマネジメント教育は従来、企業内教育で管理職適齢期に行われる傾向にありますが、近年は従来の延長線上にない経営スピードで事業運営が行われており、活動領域もグローバルが当たり前となっています。更にはAI、DXも飛躍的な進歩を成し遂げているため、ものづくり経営に関する基本概念は早期に知っておいた方が自らの人生をより有意義なものにできます(担当教員自身の体験)。この授業を通じ、実践的なマネジメント能力を身につけるスタートないしは就職活動の会社研究への手掛かりをつかむ契機になってほしいと考えています。						
(5)授業計画	授業は対面で行います。90分授業になります。 【注】*はゲスト講師の講義日次第で順序入れ替わりします 01 4月13日(月) 繊維学部で「ものづくり経営」を学ぶ意義 02 4月20日(月) ものづくりの業界・業種とUSP 03 4月27日(月) 品質保証と品質管理 04 5月1日(金) 開発戦略、生産戦略、営業・サービス戦略 05 5月11日(月) 人的資源管理(HRM)、リーダーシップ 06 5月18日(月) 日本のものづくりを守るために 07 5月25日(月) エレクトロニクスメーカーのゲスト講師による講義(決定) 08 6月1日(月)* アカウンティング(財務会計、管理会計) 09 6月8日(月)* デザイン経営 10 6月15日(月)* イノベーション・マネジメント 11 6月22日(月)* ロールプレイング 12 6月29日(月)* ロールプレイング 13 7月6日(月) 半導体製造装置メーカーのゲスト講師による講義(決定) 14 7月13日(月)* 精密機器メーカーのゲスト講師による講義(予定) 15 7月27日(月) まとめ						
(6)成績評価の方法	・4分の3以上の出席を必要とします。 ・期末試験は実施しませんが、最終回の授業後にリポート課題があります						
(7)成績評価の基準	【リポート】上記出席要件を満たしていることを基準として、(i)論点の設定が適切であり、()その論点の背景を説明できており、()その論点にどのような課題があるのかを指摘できており、()それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握されており、()その上で自分の見解を提示できており、かつ教員を感心させるレベルにあれば「秀:卓越している」。()から()の自分の見解の提示まで満たしていれば「優:かなり上にある」。4項目までできていれば「良:やや上にある」。3項目までできていれば「可:水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	リポート作成						
(9)履修上の注意	レポート作成の際は、自身のどのような背景や経緯・経験がありその考えを示したのか記すこと。 論文ならびに参考・引用図書を必ず記すこと。 AIに頼らず自身で考え、自身の言葉でレポートないし発言をすること。 対面講義を受講する場合は、基本的な感染予防対策に留意すること。また、対面講義日に発熱等の体調不良がある場合は出席せず、その旨学務係および担当教員へ連絡すること。						
(10)質問、相談への対応	オフィスアワーは、講義後(月曜日18:30~19:30)受け付けます。 質問・相談内容は講義に関すること、進路・キャリアに関すること中心にアポイントメント不要です。						
(11)学生へのメッセージ	本講義を通じ「ものづくりの世界(またはそれ以外の世界でも構いません)」または「社会」で自分がどういきたいのか「グランドビジョン」・「ドメイン(生存領域)」を描けるようになり、それを実行していくための「アクションプラン」を立案できるよう、サポートします。						
(12)その他							
【教科書】	各回の資料は講義時に配布する。						

【参考書】	グロービス「新版MBAマーケティング」、「新版MBAマネジメント・ブック」ダイヤモンド社 「日経ビジネス」「週刊東洋経済」「週刊ダイヤモンド」「プレジデント」「会社四季報」等のビジネスジャーナリズムの本誌，および各サイト 藤本隆宏「生産マネジメント入門」・「日本経済新聞社」 EDINET所収の有価証券報告書等，各社HPのIR資料，JETROや特許電子図書館のHPで公開される諸資料
-------	---